

令和8年度



地域デザインカレッジ磐田

地域課題を解決する方法を
講座で考え実践してみませんか？

こんな **お悩み**、ありませんか？

活動にデジタルを取り入れ、
スマートな運営をしたい

自治会活動の
効率化を考えたい

地域住民へ
防災意識を広げたい

基礎講座

全1回
どなたでも参加できます！

令和8年

7月5日(日)

13:30~16:00

竜洋なぎの木会館
講義室203・204

実践講座

講座3回+個別相談2回
基礎講座参加者のうち、希望者のみ

令和8年 8月9日(日)

8月23日(日)

9月26日(土)

11月1日(日)

12月12日(土)

受講料:無料

定員: 50名(基礎講座)
5団体程度(実践講座)

年間スケジュール

第1回
7/5(日)
13:30~

基礎講座「磐田市の地域の現状と、今の時代に求められる地域活動」
講師：里山くらしLABO 池田 水穂子さん、河村 将雄さん
地域活動の課題についての情報交換会
会場：竜洋なぎの木会館 講義室203、204

第2回
8/9(日)
13:30~

実践講座(第1回)「地域の現状と課題把握の手法」
地域の課題や理想の姿の発表、情報の共有
地域デザインカレッジに申し込みいただいた団体(5団体程度)が、それぞれの課題に対し、ワークショップ形式で解決策を検討します。
会場：竜洋なぎの木会館

第3回
8/23(日)

個別相談 (活動のテーマ設定や目指す姿の設定など、具体的なアドバイスを行います)
会場：後日連絡します

第4回
9/26(土)
13:30~

実践講座(第2回)「課題への取り組み方法」「先進事例から学ぶ」
地域の課題や理想の姿の発表、情報の共有
会場：ワークピア磐田

第5回
11/1(日)

個別相談 (活動のテーマ設定や目指す姿の設定など、具体的なアドバイスを行います)
会場：後日連絡します

第6回
12/12(土)
13:30~

実践講座(第3回)「課題解決の手段について」
課題を解決するための取り組みを地域に説明する方法を考えるワーク
会場：ワークピア磐田

申込方法

※締切：令和8年7月3日(金)

電子申請はこちら(実践講座の申込は7月から開始予定です)

<https://logoform.jp/f/4uzN5>



お電話での申込はこちら

0538 - 37- 4811

ホームページ↓

お問い合わせ 磐田市自治デザイン課(地域づくり推進グループ)

☎0538-37-4811 ✉chiiki-ohen@city.iwata.lg.jp



地域デザインカレッジ磐田とは？

地域活動を持続可能なものにするために、地域課題の解決方法について学び、対話を重ねながら解決策を共に考えていく講座を年間を通じて開催します。磐田市内で自治体や地域づくり協議会で地域活動を行う皆さまと一緒に「地域活動のこれから」を考えてみませんか？

目的

自治会、地域づくり協議会、地区社協などの地域活動団体が抱える課題の解決策と一緒に考え、地域をより良くする取り組みを支援します。

気づき

他地域や他団体と一緒に学ぶことで、新たなアイデアを引き出し、交流を深めながら課題を解決することで、人財を育成し、地域の想いを形にします。

講師

里山くらしLABO
池田 水穂子 氏、河村 将雄 氏

2015年設立。静岡市の中山間支援の子育て支援や移住促進支援をきっかけに、人口減少と高齢化に対応するコミュニティづくりのサポートを始める。当事者でも行政でもない、第三者の視点による伴走支援を主とし、地域課題の数値化・可視化、地域活動の目的の再確認や、組織や役職、行事の見直しなど、自治会を主とする地域活動の当事者が、時代の変化に対応できるしなやかな地域運営組織づくりを応援する。

講座の様子

講義



意見交換



発表



振り返り



個別相談



「実践講座」では、まずご自身の団体の現状を具体的に把握します。その後、取り組む必要がある課題を見出し、解決策の計画や実践を行います。意見交換による受講者同士の対話を通じ、他団体と情報交換を行うことができます。

また、受講団体ごとに「個別相談」を2回行うことで、講師が課題に対する取り組み方法を具体的にアドバイスします。

受講団体の取り組み

こどもの居場所づくり

■ 課題

- ・以前実施した「中学生以上全住民アンケート」において「こどもの居場所がない」との声が多数あった。
- ・小学生は放課後児童クラブがあることから、特に**中学生の居場所が不足している可能性**が考えられた。

■ 取り組み内容

- ・磐田市内でこどもの居場所づくりの活動を行っている協議会や団体への**視察**
- ・中学生への**ヒアリング**
- ・学区内の中学校に通学する全生徒に対しオンラインアンケートを行い、居場所の**ニーズ調査**を実施

■ 今後に向けて

- ・アンケート結果を分析し、中学生が求めている**居場所のニーズを把握**
- ・交流センターの1室を開放し、**試験的に居場所づくりを実施予定**
- ・活動内容の評価、運営体制の確立、学校との調整などを行い、**継続的に改善していく予定**

水害に対する地域防災力の向上

■ 課題

- ・今までは大規模地震への対策を中心に防災活動を行ってきたが、近年、かつてない規模の豪雨や水害が各地で発生しており、**水災害に対する備えが必要**になった。
- ・同じ地区内でも災害リスクが大きく異なることから、必要な対策が遅れ、被害が広がる可能性がある。

■ 取り組み内容

- ・水災害避難訓練に参加し、課題の洗い出しと対策を検討
- ・すぐにできる対策の実施

■ 今後に向けて

- ・一時避難場所や避難ルートの検討
- ・災害時に正確な情報を伝えるため、**地区公式LINEの登録者増加キャンペーンを実施予定**
- ・活動内容の評価を行い、自助・共助ができる地域づくりに向け、**継続的に改善していく予定**

その他の取り組み例

■ 組織改革と地域計画の策定

■ 組織改革の検討と新たな担い手づくり

■ 保護者とこどもの運動遊びによる健康増進と、地域コミュニティとの交流づくり

参加者の感想

- ・課題解決に向けた具体的な取り組み方法を学ぶことができました。
- ・普段なかなか接点がない地域の方々とつながることができました。
- ・毎回、参加者同士で話し合ったという実感を持ってました。
- ・参加者の真剣度が素晴らしかった。